

保土谷化学グループのグローバル展開

事業総轄執行役員メッセージ



売上高の50%以上を国外向けの販売が占める当社グループにとって、重要度が増すグローバル市場での成長継続のためには「当社の強み」×「仕掛け」+「パートナー」の考えで各地域のニーズに対応することが重要です。これまで、機能性色素セグメントの強化と事業の拡大を目的として、これらに取り組んでまいりました。今後も各事業セグメントと各地域のニーズに対し、魅力ある「仕掛け」づくりと有望な「パートナー」の獲得により、「SPEED 25/30」に掲げる適切な事業ポートフォリオの構築を進めてまいります。

常務執行役員 中野 猛

取り組み状況

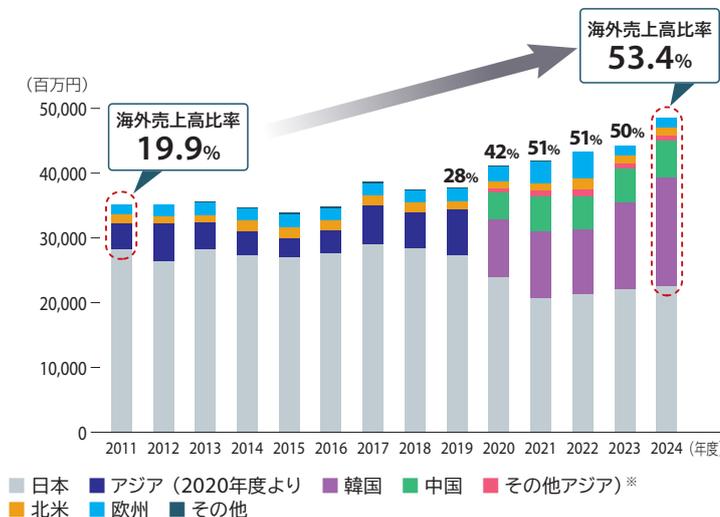
保土谷化学グループは、グローバルなお客様の多様なニーズにお応えするため、北米・欧州・中国・韓国・台湾の5地域に拠点を構え、海外展開を強化しております。これらの拠点を有効に活用することにより、グループ全体の海外売上高比率は、2020年の42%から2024年度は53%に伸長しました。主力製品であるモバイル機器等へのアルミ着色用染料や、ディスプレイ向け有機EL材料等の販売が海外で着実に拡大するとともに、ホスゲン誘導体の海外需要も増加してきております。

韓国のグループ会社においては、有機EL材料の用途拡大により大きく成長している最中であり、保土谷化学グループ全体の利益拡大にも大きく貢献しております。2023年から韓国で稼働を開始したBioParkを活用し、「診断キッ

ト材料向けオリゴ核酸製品」や次世代医薬品である「核酸医薬原料向けオリゴ核酸製品」の製造にも取り組んでおります。また、成長分野への戦略的投資として、同じく韓国の忠州（チュンジュ）と陰城（ウムソン）に工場を新設し、独自の応用精製技術を活かした半導体材料への展開も進めております。

そのほか、機能性樹脂セグメントにおいては、「選択と集中」を加速化し、植物由来の原料を用いた高機能ウレタン材料や医薬向けホスゲン誘導体をグローバル市場に浸透させていきます。今後も、あらゆる分野で「独自の技術力」と「グローバルネットワーク」を活かしながら、常に高品質な製品とサービスの提供を通じて国内外のお客様のニーズに応えてまいります。

保土谷化学グループ地域別売上高推移



※2019年度まで「アジア」に含めていた「韓国」および「中国」の売上高は、重要性が増したため2020年度より独立掲記しております。

保土谷化学グループ地域別売上高構成比

